

## 令和元年度 地域連絡会議

- 日 時 令和元年11月14日（木） 午後4時00分から午後4時45分  
場 所 国立病院機構やまと精神医療センター 研修棟1階研修室  
議 題 1. やまと精神医療センターの運営状況  
2. 医療観察法病棟（5病棟）の運営状況  
3. その他

### 院長挨拶

本日は、ご多忙のなか、やまと精神医療センター地域連絡会議にお集まりいただき誠にありがとうございます。医療観察法病棟の運営にあたり、これだけの皆様にご協力いただいておりますことにつきまして、改めて重責を感じております。本日は、当院並びに医療観察法病棟の運営状況についてご報告をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 1. やまと精神医療センターの運営状況

#### ・患者数の状況

当院には3種類の病棟がございます。一般的な精神病棟が3つ、計148床。重症心身障害病棟が2つで、計100床。医療観察法病棟が1つ、35床、計6病棟・283床で運営しております。

10月末時点での本年度の平均入院患者数は、一般的な精神病棟は125.9名、重症心身障害病棟は100.3名、医療観察法病棟は31.6名となっており、合計して平均257.9名の方が入院されております。

外来患者数は、1日平均76.5名となっております。うち15名ほどはデイケアを利用しております。

また当院は入院と外来のほかに患者様が安心して在宅で過ごしていただける様、日々、10名弱の訪問看護を行っております。

#### ・運営状況

既に重症心身障害病棟の建替、CT・MRIの更新も終え、大きな設備はなく、ひと段落している状況です。

地域活動としては、イオンモール大和郡山にて、健康フェアを毎年、春・秋の2回開催しています。地域の皆様の健康増進に少しでもお役に立てればと思っております。

《質疑応答》

特になし。

## 2. 医療観察法病棟（5病棟）の運営状況

令和元年10月末現在の、医療観察法病棟の運営状況について報告いたします。

まず、入退院の実績について、平成22年8月の医療観察法病棟開棟以来、累計で132名が入院され、99名が退院されています。令和元年度は4月からこれまで、8名の入院、7名の退院がありました。

現在は、10月末時点で33名（会議当日11月14日現在で33名）の方が入院されています。概ね常時30名以上の方が在院されている状況です。

年代別では、20～40代の方が多く入院されています。女性の割合は常時概ね1.5～2割程度となっています。現在は、最も年齢が上の方で70代の方が入院されています。

地域別では、現在は大阪、兵庫の方が多く、合わせて全体の6割程度となっています。他に京都、奈良、和歌山の方もおられ、現在は全て近畿圏内の方となっています。

対象行為別、すなわちどのような事件を起こされて入院されているかということですが、多い方から傷害、殺人未遂、殺人、放火、放火未遂、と続いています。その他に、強盗未遂、傷害致死があります。

精神疾患別では、全体の8割弱が統合失調症となっています。その他、妄想性障害、双極性感情障害、知的障害、発達障害の方もおられます。

医療観察法の入院においては、退院までが急性期・回復期・社会復帰期と呼ばれる3つのステージに分けられ、それぞれのステージの治療課題をクリアして、次のステージに進むという流れになっています。

開設以来、回復期という中間のステージの方が人数としては多くなっており、10月末現在で、急性期6名、回復期19名、社会復帰期8名となっています。

院内散歩、及び外出・外泊の実績については、合わせて月平均20件程度となっています。全てスタッフ同伴で行っています。

隔離・拘束件数について、精神科では、精神症状がよくないときに必要な場合には、治療の一環として、部屋を施錠する隔離、ベッド上で身体を固定する拘束という処置をとることがあります。拘束については、当院の医療観察法病棟では、令和元年度は拘束の実施件数は0件となっています。隔離については、今年度は4名、のべ4件の実施となっています。

《質疑応答》

特になし。

## 3. 報告事項

今年の8月に外出訓練中の対象者が一時行方不明になる出来事がありましたので概要を報告します。

対象者の社会復帰に向けて、公共交通機関の利用及び商業施設での購買練習のため、2名の職員が付添をして病院前からイオン大和郡山に向けてバス移動をしていたことです。

乗車していたバスが途中のアピタの停留所に停車した際、後ろの乗車口から対象者が一人でバスから飛び出しました。

直ちに職員が追いかけて見失い、付添職員がすぐに病院へ連絡したため本部を立ち上げ、捜索班を6班出動と同時に警察、保護観察所、近畿厚生局へ連絡すると共に自治会長様へも報告をしました。

対象者を概ね2時間後に近鉄郡山駅に向かう道で発見し、保護をしております。事件後対象者に確認したところ逃亡しようとする明確な意思は無く、気が付いたらバスから飛び出していたとのことでした。他者に何か行動を起こすことなく、暑いさなかフラフラと歩いていた状況でした。

外出泊については十分にその可否を判断して実施をしていますが、この度の出来事から予期せぬ事態に備え、改めて対応方法の再確認をいたしました。

毎月20件ほどの外出泊訓練を行っておりますが、いずれの場合も付添職員は気を抜くことなく、行動中の密着観察の徹底や携帯電話の確認などチェック項目の再確認をいたしました。

なお、この件は近畿厚生局の医療観察法担当室と国立病院機構の本部へ報告を行い、再発防止策の提出をしております。

皆様には不安とご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。

#### 《質疑応答》

自) 付添職員2名とはどのような人でしょうか。

セ) 看護師、作業療法士、心理療法士、精神保健福祉士が1つのチームとなり、その中から2～3名付添うようにしています。

自) 逃亡時のための職員はいるのか。それとも普通の看護師等が追いかけるのでしょうか。

セ) 普通の看護師だが、追いかけることが可能な職員を配置しています。万が一、対象者が暴れた際は落ち着いていただく技術を体得した職員を付添いさせています。

自) 今回の事例は稀なことだと思うが、無意識に逃亡したという統合失調症の対象者等の外出訓練の許可を先生方はどのように判断しているのでしょうか。

セ) 外出までの流れとして、外出泊される前には必ず診察を行い、対象者の疾患（幻覚や妄想等）がどの程度影響しているのか、焦燥感（ソワソワ）や鬱状態ではないか等診察した上で許可をしています。

今回の対象者に関して、妄想はあるがそれに左右されたり暴れたりすることは

なく安定していました。外出当日も落ち着いて話をしたり、外出目的も把握していた為、問題無いと判断しました。

自) 2時間後に職員の方が発見されたとのことでしたが、もし今後同じことが起こり、住民が先に発見した場合、声掛けをしても良いのでしょうか。(普段でも何か困っていたりウロウロしている人に対して声掛けをすることが多々ある為)

セ) 今回の対象者については他者に危害を加えるという危険性はないと判断しています。また、危害を加える様な危険性がある対象者は外出泊訓練に許可しないが、全くないとは言い切れないため怪しい人がいれば警察に連絡したほうが良いと思います。

自) 万が一同じ様なことが起こった場合、近隣の自治会に連絡はあるが、今回発見された近鉄郡山駅近くの自治会には連絡がないため事が起こったかわからない。学校の登下校にも関わってくる為、その辺りをもう少し踏まえて今後の対策をしてほしいです。

自) 社会復帰に向けての工程として外出泊訓練は大事だと思うが、今回のことは交通事故にあっていたかもしれない。病院で預かっている以上、患者管理は徹底してほしいです。対象者はアピタか郡山イオンか分かっていなかったかもしれない。そこは付添職員が重々注意して安全管理を行うようにしてほしいです。

セ) 同じことが起こらないように重々注意するようにします。

自) バスを降りたことに対して対象者は反省しているのでしょうか。

セ) 大変なことをしてしまったと後で言っていた。

自) 所持金は本人管理ですか。

セ) 当院の財布を持たせています。(中身は本人の所持金)

自) その所持金は自由に使えるのでしょうか。衝動的に物を買ったり、電車に乗ったりすることは可能なのでしょうか。

セ) 金額は病院側で確認し、その所持金内で買い物することが目的です。また、交通機関へはI Cカードを利用しています。

自) 外出訓練中、外部の人が一般の方とは違うとわかるように名札等はつけているのでしょうか。

セ) 名札は携帯しています。

自) 今後の外出泊訓練中も細心の注意を払って行動していただきますようお願いいたします。

自) 行方不明の搜索対策としてGPSを使うことが有効だが、GPS付のベルト等を巻くことは可能でしょうか。

セ) GPSの強制は難しいが、外出泊訓練中には携帯電話を貸与しています。その

携帯電話はGPS発信がしており、場所の確認をできるようにはしています。  
対象者にははぐれた時等の連絡手段として渡しています。

当院は二度と同じことを起こさない様、気を引き締めて、対象者から目を離さない・離れないを徹底し、今後も訓練を行います。

他にご質問等はございますでしょうか。

それでは、以上を持ちまして地域連絡会議を終了いたします。

本日もご意見をいただいた点につきましては、整理・検討の上、委員の皆様には追ってご連絡、お知らせをさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

以 上